

■ フッ化物洗口の目的

むし歯予防のため、永久歯に生え変わる大切な時期に歯の質を強くするために実施するものです。

■ 恵庭市のむし歯予防の取り組み

- ①平成20年度から全保育園など、9施設で対象幼児94%（383人/405人）の利用でスタート。
- ②市保健課が、乳幼児の歯科検診時及び就学前幼児の歯に直接フッ化物溶液を塗るフッ化物塗布を実施。
【塗布のフッ素濃度は9,000ppm】

■ フッ化物洗口の薬剤

薬剤の種類	洗口回数	使用量	フッ化ナトリウム濃度	フッ素濃度
フッ化ナトリウム試薬	週1回	10ml（大さじ2/3程度）	0.2%	900ppm（塗布の1/10）

- ★フッ化ナトリウム水溶液は、ほぼ無味無臭ですが、人によっては軽い苦味や塩味などを感じる場合があります。
- ★一般に使用する洗口液のように、フッ素濃度が1%（10,000ppm）以下に調整されたものは普通薬に分類され、口の中に適用するものとして安全性が承認されています。
- ★洗口液のフッ素は低濃度なので、矯正治療の針金などに作用して腐食させるようなことはありません。また、「服薬中」の方も洗口液を飲み込むわけではないので実施しても差し支えありません。
- ★洗口液は、薬剤師が学校歯科医からの指示書に基づき、フッ化ナトリウム水溶液を調製し、学校に届けます。学校は、鍵付き冷蔵庫で保管します。

■ フッ化物洗口の流れ



■ 洗口の手順

- ★洗口は、学級担任の監督の下で行ないます。
- ★事前に、水道水で練習し、ブクブクゆすぎができるようになってから洗口液で実施します。
- ★10mlの洗口液で、歯に洗口液がゆきわたるように1分間ブクブク口の中をゆすいでから吐き出します。
- ★フッ化物洗口液を誤って全部飲んでも問題はありますが、小学校では初めての取り組みとなるため、児童が誤飲した場合は学校から保護者へお知らせいたします。

■ 洗口後の注意

洗口後30分間は、効果が薄れないよう、うがいや飲食をさせないようにします。

小学校におけるフッ化物洗口の取組みを、市の広報誌で9月以降に特集で掲載予定です